

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : 07-061236
 (43) Date of publication of application : 07. 03. 1995

(51) Int. Cl. B60J 7/00

(21) Application number : 05-213034 (71) Applicant : DAIKYO WEBASTO CO LTD
 (22) Date of filing : 27. 08. 1993 (72) Inventor : KAMIGASA OSAMU

(54) SKIN MEMBER FIXING STRUCTURE FOR SUNSHADE

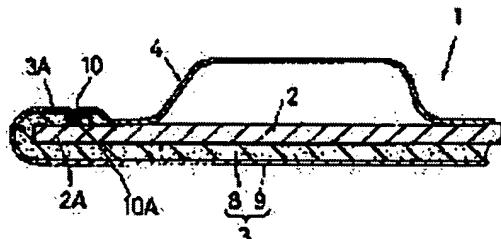
(57) Abstract:

PURPOSE: To simplify fixing so as to heighten work performance by bending the tip part of a stiffener downward so as to be formed into a locking part to be pressed to a skin member in the structure of enfolding the front end part of the skin member on the front end part upper face of a base and fixing the end part of the skin member by the stiffener.

CONSTITUTION: A sunshade 1 closably provided on the indoor side of the glass panel of a sun roof device for opening/closing an opening part

provided at the roof of a vehicle is formed of a square shading base 2 which is a sunshade body, a decorative skin member 3 for covering the indoor side surface of the base 2, a stiffener 4 fixed to the upper face of the front end part 2A of the base 2, and the like. The stiffener 4 is bent in upward protruding shape at the front part and then bent downward, and its front end part is formed into the locking part 10 of the skin member 3. The

tip 10A of the locking part 10 is of pointed end shape and formed into corrugated shape. A bite into the skin member 3 is thereby made positive so as to facilitate fixing.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 03. 08. 2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 28. 01. 2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C) : 1998, 2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-61236

(43)公開日 平成7年(1995)3月7日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 60 J 7/00

C

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全4頁)

(21)出願番号

特願平5-213034

(71)出願人 000108889

ダイキヨー・ベバスト株式会社

広島県東広島市八本松町大字原175-1

(72)発明者 神笠 修

広島県東広島市八本松町吉川15702-4 ダ

イキヨー・ベバスト株式会社テクニカルセ
ンター内

(74)代理人 弁理士 安田 敏雄

(22)出願日

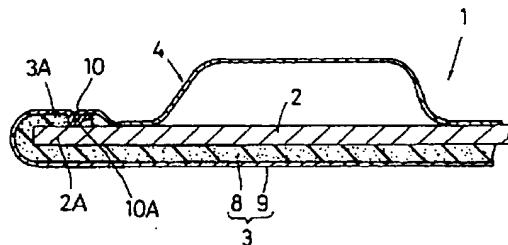
平成5年(1993)8月27日

(54)【発明の名称】 サンシェードの表皮部材固定構造

(57)【要約】

【構成】 サンシェード1のベース2の前端部2A上面に表皮部材3の前端部3Aを巻き込み、巻き込んだ表皮部材3の端部3Aをベース2上面に固定するスチフナ4で固定したサンシェードの表皮部材固定構造において、前記スチフナ4の先端部を下方に折曲して表皮部材3に押付けられる側面視尖端状係止部10を形成する。

【効果】 表皮部材の前端部を容易にかつ確実に固定でき、部品点数が少ないうえ作業性が良好で、作業時間を大幅に短縮でき、コスト低下を図ることができ、さらに、表皮部材にシワが生じないし、外観を向上させることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 サンシェードのベースの前端部上面に表皮部材の前端部を巻き込み、巻き込んだ表皮部材の端部をベース上面に固定するスチフナで固定したサンシェードの表皮部材固定構造において、前記スチフナの先端部を下方に折曲して表皮部材に押付けられる側面視尖端状係止部を形成していることを特徴とするサンシェードの表皮部材固定構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、乗物のサンルーフ装置におけるサンシェードの表皮部材固定構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 一般に、乗物の屋根に設けたサンルーフ装置は、前記屋根の開口部を開閉するガラス製のパネルと、該パネルの室内側に開閉可能に設けたサンシェードとを備えており、前記サンシェードはベースにその室内側に表皮部材を装着したものである。

【0003】 従来、サンシェード21は、図6、図7に例示するように、略方形状のサンシェード本体であるベース22に、ウレタン23の表面に表皮24を重ね合わせた表皮部材25が、室内側から上側に巻きこまれて止着されており、ベース22の前端部に沿うようにカバーブレート26が固定され、該カバーブレート26にその長手方向に沿って長溝部27が形成され、表皮部材25の前端部25Aが張った状態でカバーブレート26に止着されるように、表皮部材25の前端部25Aに前記長溝部27に嵌入係止できるフック部材28が縫着されている（実公平4-39776号公報参照）。

【0004】 また、図8に示すように、表皮部材25の先端部25Aを接着剤によりベース22に接着すると共にタッカー29により固定した後、スチフナ30の先端部を押付けで固定したものがある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、上記従来技術の前者では、フック部材28を表皮部材25の先端部25Aに縫着するので、精度確保が困難でしかも作業性が悪い部品点数が多く、作業時間が長くかかるなどの問題がある。また、上記従来技術の後者（図8）では、接着部分にシワが生じ、タッカー29の固定に多くの時間を要し、作業性が悪い部品点数が多いという問題がある。

【0006】 本発明は、上述のような実状に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、固定が簡単・確実でかつ作業性が良好で、しかも部品点数が少なく、固定作業時間の短縮を図ることができるサンシェードの表皮部材固定構造を提供するにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明では、上記目的を

達成するために、次の技術的手段を講じた。即ち、本発明は、サンシェードのベースの前端部上面に表皮部材の前端部を巻き込み、巻き込んだ表皮部材の端部をベース上面に固定するスチフナで固定したサンシェードの表皮部材固定構造において、前記スチフナの先端部を下方に折曲して表皮部材に押付けられる側面視尖端状係止部を形成していることを特徴としている。

【0008】

【作用】 本発明によれば、ベースの前端部上面に表皮部材の前端部を巻き込み、該表皮部材前端部上面にスチフナの先端部の側面視尖端状係止部を当接させた状態で、スチフナをベースに固定することにより、表皮部材前端部をベース前端部に確実強固に、しかも短時間で固定することができる。そして、表皮部材前端部は係止部によってベースに強く押圧固定されているので、剥がれたりシワになることがない。

【0009】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面に基づき説明する。図2はサンシェード1を上側からみた分解斜視図で、該サンシェード1は、図示していないが、乗物の屋根に設けた開口部を開閉するサンルーフ装置のガラスパネルの室内側に開閉自在に設けられる。

【0010】 该サンシェード1は、サンシェード本体である略方形状の遮光性を有するベース2と、該ベース2の室内側表面を被覆する装飾性を有する表皮部材3と、ベース2の前端部2A上面に固定されるスチフナ4と、開閉操作用ハンドル5と、ストッパ6等により主構成されている。前記ベース2の前端部2A中央には、ハンドル装着孔2Bが設けられ、表皮部材3の装着後に前記ハンドル5が取付けられる。また、ベース2の両側端縁には、補強用のサイドプレート7が、後端縁にはリヤプレート11がそれぞれ装着される。

【0011】 前記表皮部材3は、図1、図4に示すように、発泡合成樹脂（例えばウレタンフォーム）等からなる柔軟な基材8の表面に、装飾性のある表皮9を貼り合わせたもので、各端縁部をベース2の端部上面に巻き込めるように、ベース2よりも大きく形成されている。前記スチフナ4は、ベース2の前端部2Aの補強材を兼ねた表皮部材3の固定部材で、長尺板状体から成り、全周40端縁部を除いて上方に膨出され、前部は上向き突状に屈曲され後に下方に折曲されていて、その前端部が表皮部材3の係止部10とされている。該係止部10の先端10Aは、側面視において図1に示すように肉厚しか見えない尖端状であり、正面視において図3に示すように波形に形成され、表皮部材3への喰い込みが確実で、強力な固定ができるようにしてある。そして、スチフナ4の長手方向（左右）両端に、前記ストッパ6が取付けられる。

【0012】 次に、ベース2に表皮部材3を固定する場合、まず、表皮部材3の左右両端部及び後端部をベース

3

2上面に巻き込み、接着剤により各プレート7, 11(又はベース2に直接)に接着する。続いて、表皮部材3の前端部3Aを、図4に示すように、巻込み治具12によりベース2の前端部2A上面に巻き込んで、表皮部材3を張った状態で、スチフナ4をその係止部10端が表皮部材先端部3Aを上から押さえるように当接し、スポット溶接によりベース2にスチフナ4を固着する。

【0013】このようにして、スチフナ4をベース2に固着する作業によって、同時に表皮部材先端部3Aをスチフナ4により固定することができ、従来のように表皮部材前端部3Aの固定に別途部材を必要とせず、部品点数を削除できる。なお、スチフナ4をベース2に固着する手段は、スポット溶接に代えてボルト・ナット等を探用することができる。

【0014】また、上記実施例によれば、スチフナ4の係止部10は、その先端10Aが図3に示すように波形になっているので、該先端10Aが表皮部材3に喰い込み、表皮部材先端部3Aを確実かつ強固に固定することができ、表皮部材3がシワになったり、剥がれたりすることができる。そして、表皮部材先端部3Aの巻き込みに、前記治具12を使用することにより、表皮部材3の緊張を確実かつ容易にし、シワ等の発生を防止でき、作業性が良好となり、さらに作業時間短縮と仕上がりの向上を図ることができる。

【0015】図5は、スチフナ4の係止部10の他の実施例を示し、係止部10の先端10Aを直線状としてある。また、スチフナ4の係止部10の先端10Aは、鋸歯形とることができ、更に先端10Aを鋸歯形又は波形に形成する場合は、下方突出部分をノコギリのよう

4

* 千鳥配置しても良い。

【0016】

【発明の効果】本発明は、上述のように、スチフナの先端部を下方に折曲して側面尖端状係止部を形成し、この係止部を表皮部材に押付けるので、表皮部材の前端部を容易にかつ確実に固定でき、部品点数が少ないうえ作業性が良好で、作業時間を大幅に短縮でき、コスト低下を図ることができ、さらに、表皮部材にシワが生じないし、外観を向上させることができる。

10 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例を示すサンシェードの前端部縦断側面図である。

【図2】同上のサンシェードの上部からみた分解斜視図である。

【図3】スチフナの斜視図である。

【図4】固定動作を示す説明図である。

【図5】スチフナの他の例を示す斜視図である。

【図6】従来例を示す上部からみた斜視図である。

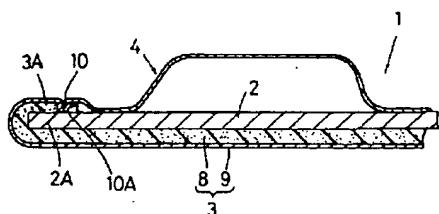
【図7】同従来例の前端部拡大縦断側面図である。

20 【図8】他の従来例を示す前端部縦断側面図である。

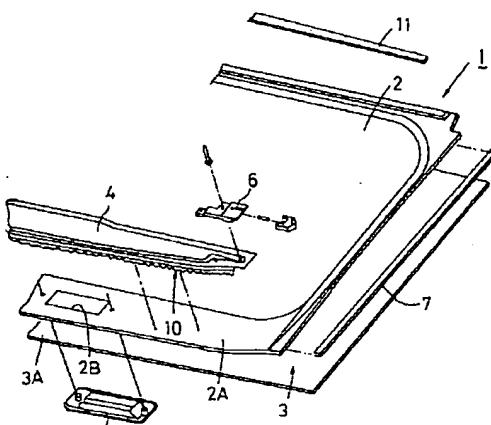
【符号の説明】

| | |
|----|---------|
| 1 | サンシェード |
| 2 | ベース前端部 |
| 2A | ベース前端部 |
| 3 | 表皮部材 |
| 3A | 表皮部材前端部 |
| 4 | スチフナ |
| 10 | 係止部 |

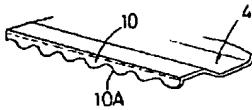
【図1】



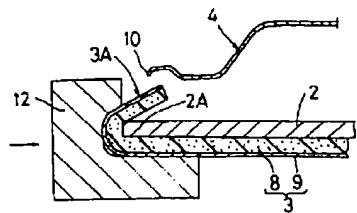
【図2】



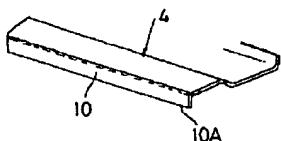
【図3】



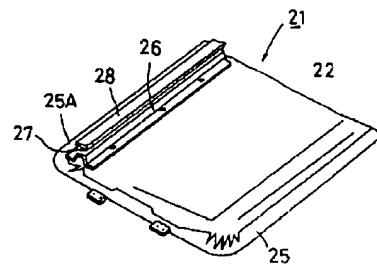
【図4】



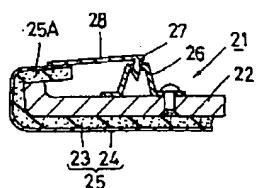
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

